

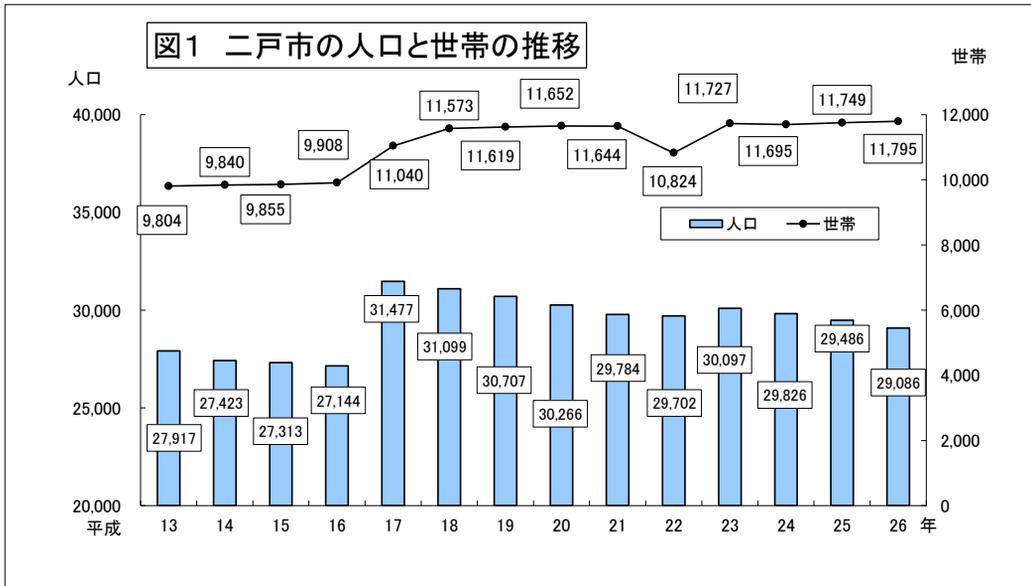
資料編

目次

1	二戸市民を取りまく母子保健の状況	68
2	健やか親子 21 の指標	75
3	にのへ結・遊親子 21 プランの指標	80
4	母子保健の体系（平成 26 年度現在）	86

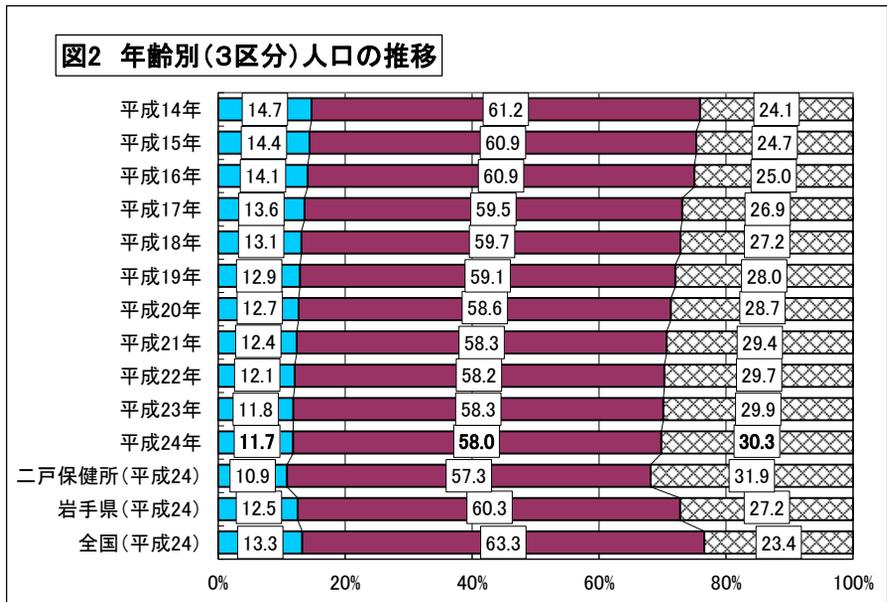
1 二戸市民を取りまく母子保健の現状

(1) 二戸市の人口は、平成17年に旧浄法寺町と合併し増加しましたが、それ以降年々減少しています。



(H13~H26.4.1 住民基本台帳登録人口より)

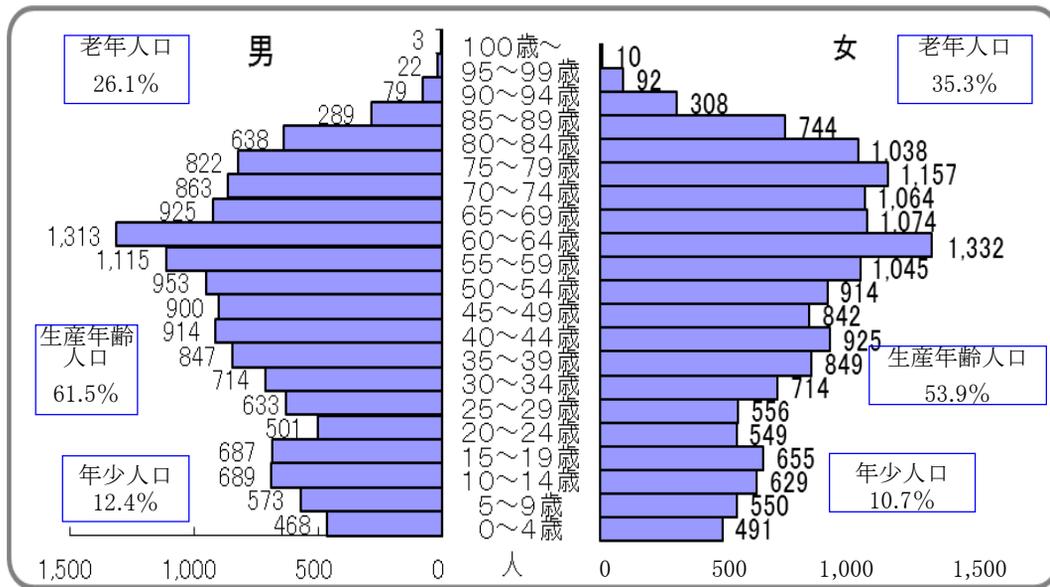
(2) 二戸市は国、県と同様に少子高齢化社会が急速に進行しており、老年人口の増加、年少人口の減少が続いています。



(H16~H24.10.1 住民基本台帳登録人口より)

(3) 男女別年齢階級別人口を見ると、男性の老年人口は26.1%であるが、女性の老年人口は35.3%となっています。

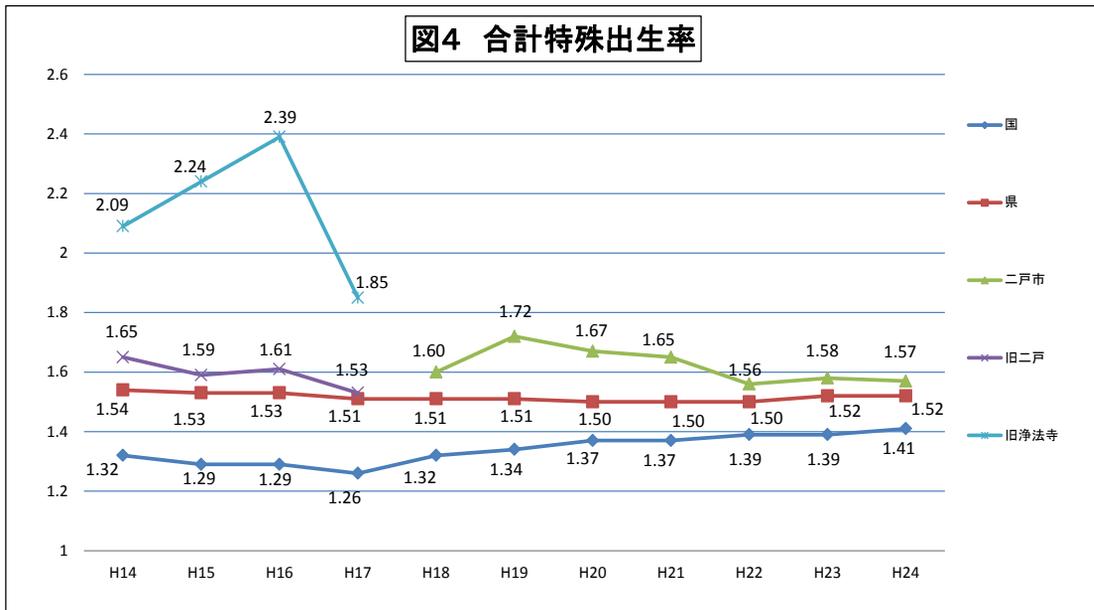
図3 二戸市の男女別年齢階級別人口ピラミッド



(平成25年3月31日住民基本台帳登録人口より)

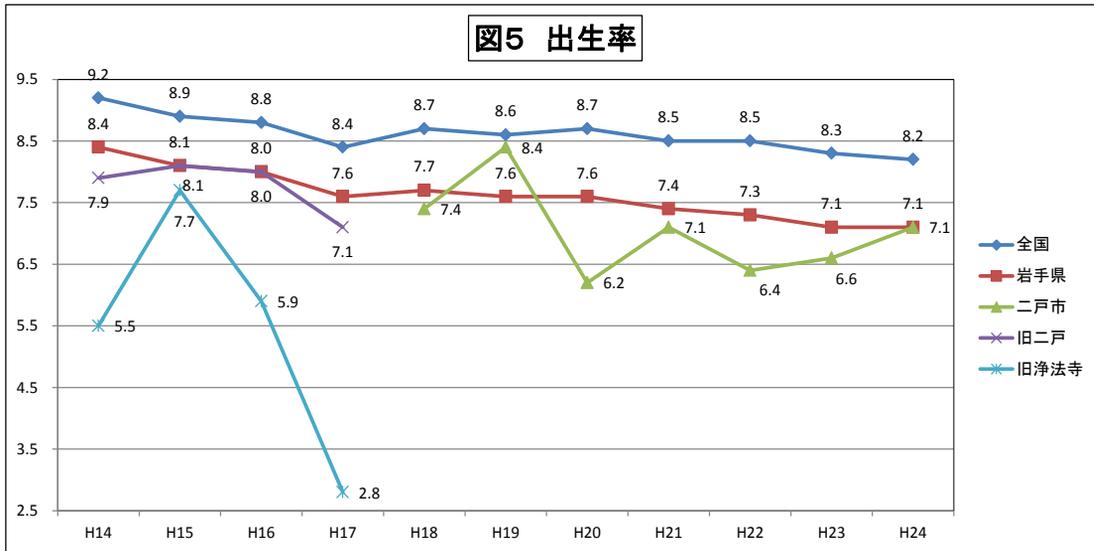
(4) 合計特殊出生率は平成24年は1.57と国・県を上回っています。

図4 合計特殊出生率



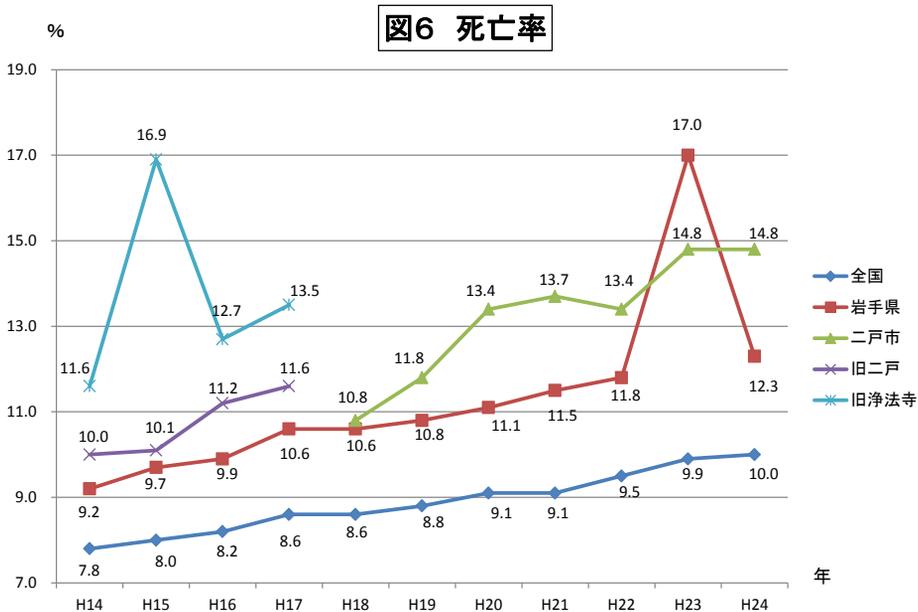
※資料：岩手県保健福祉年報（各年10月1日推計人口：県調査統計課）より

(5) 出生率では、平成24年を見ると、国が8.2%、県・二戸市が7.1%となっています。



※資料：岩手県保健福祉年報（各年10月1日推計人口：県調査統計課）より

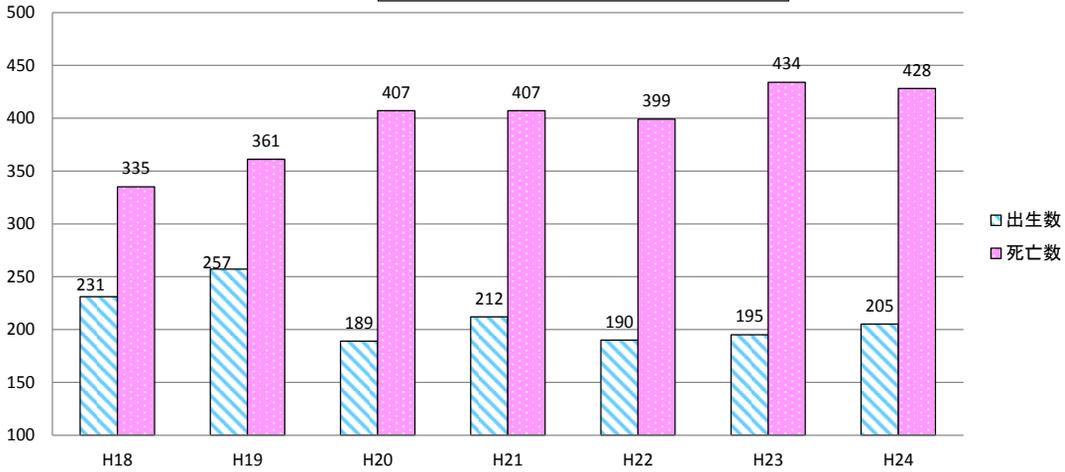
(6) 二戸市の死亡率の年次推移は、年々増加傾向にあり、平成24年では、14.8%でした。



※資料：岩手県保健福祉年報（各年10月1日推計人口：県調査統計課）より

(7) 二戸市の出生数は平成24年では205人でした。死亡数は428人でした。

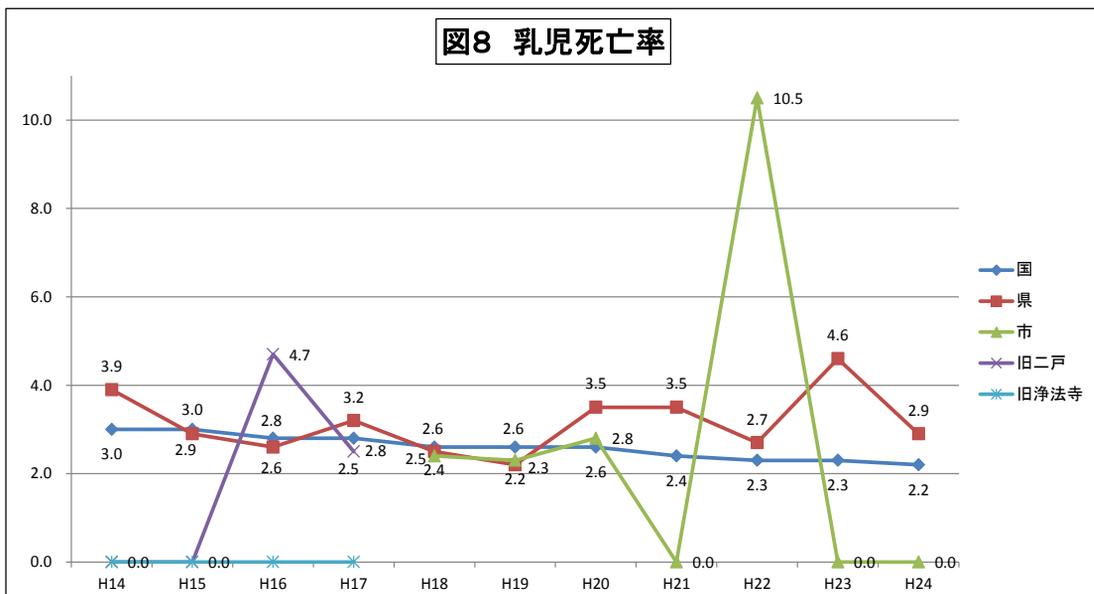
図7 二戸市の出生数と死亡数



※資料：岩手県保健福祉年報(各年10月1日推計人口：県調査統計課)より

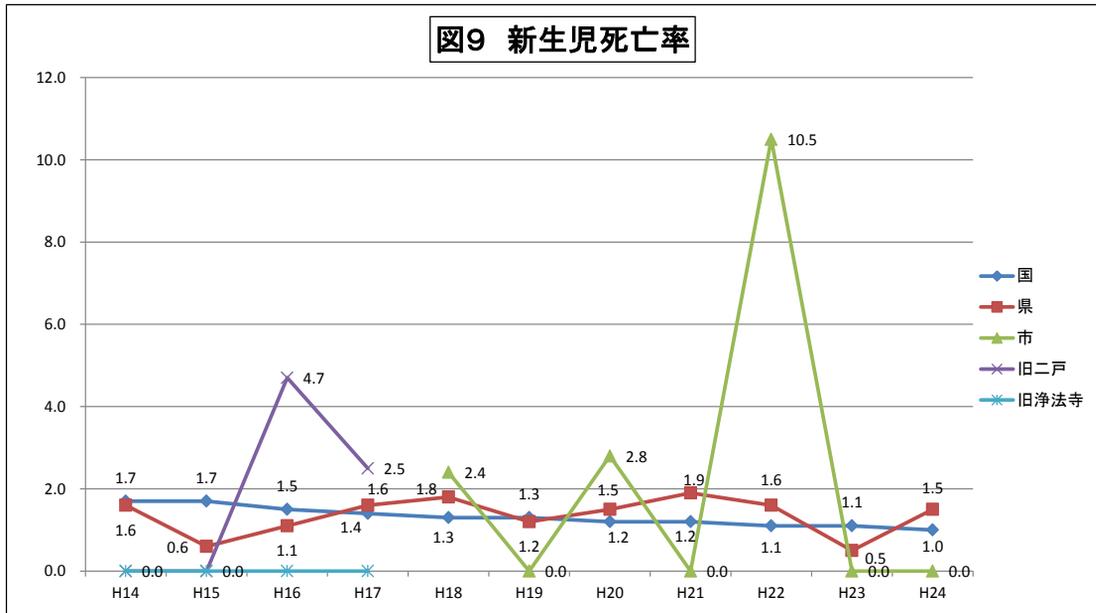
(8) 二戸市の乳児死亡率は、平成23年、平成24年は0となっており、全国、県を下回っています。

図8 乳児死亡率



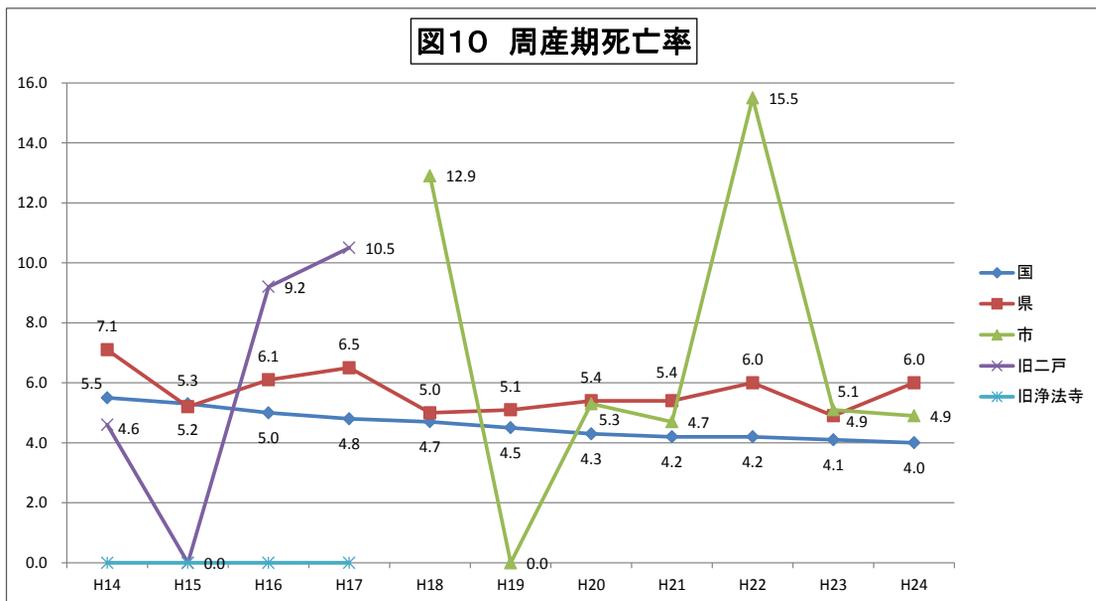
※資料：岩手県保健福祉年報(各年10月1日推計人口：県調査統計課)より

(9) 二戸市の新生児死亡率の年次推移は、平成23年、平成24年は0でした。



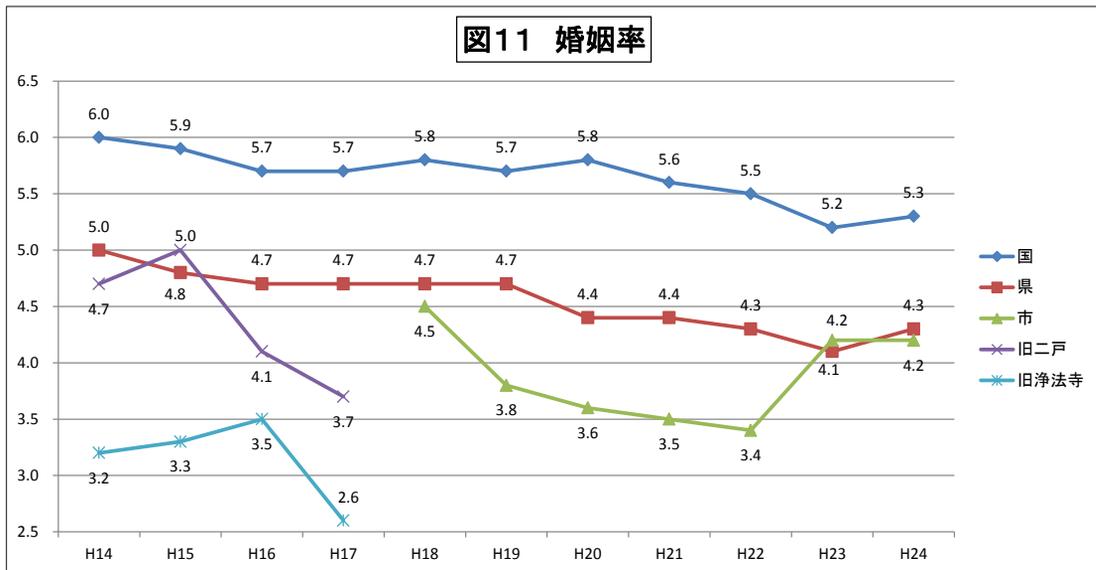
※資料: 岩手県保健福祉年報(各年10月1日推計人口: 県調査統計課)より

(10) 周産期死亡率の年次推移は、平成24年では全国を上回り、県を下回っています。



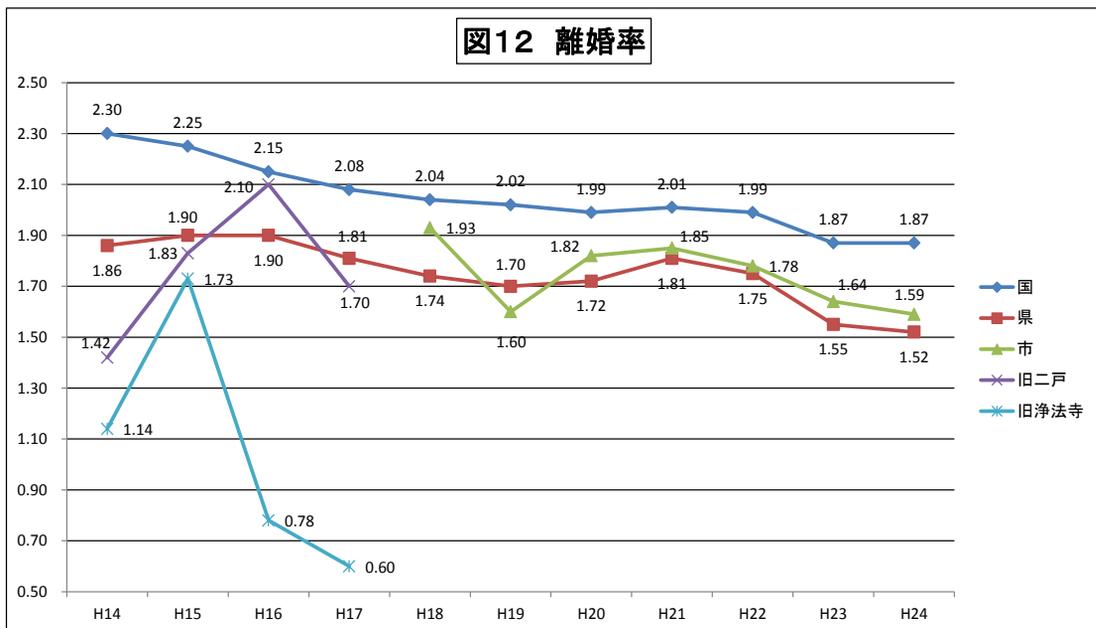
※資料: 岩手県保健福祉年報(各年10月1日推計人口: 県調査統計課)より

(11) 婚姻率の年次推移をみると、平成24年は国5.3%、県4.3%、二戸市4.2%となっており、全国、県と比較すると下回っています。



※資料: 岩手県保健福祉年報(各年10月1日推計人口: 県調査統計課)より

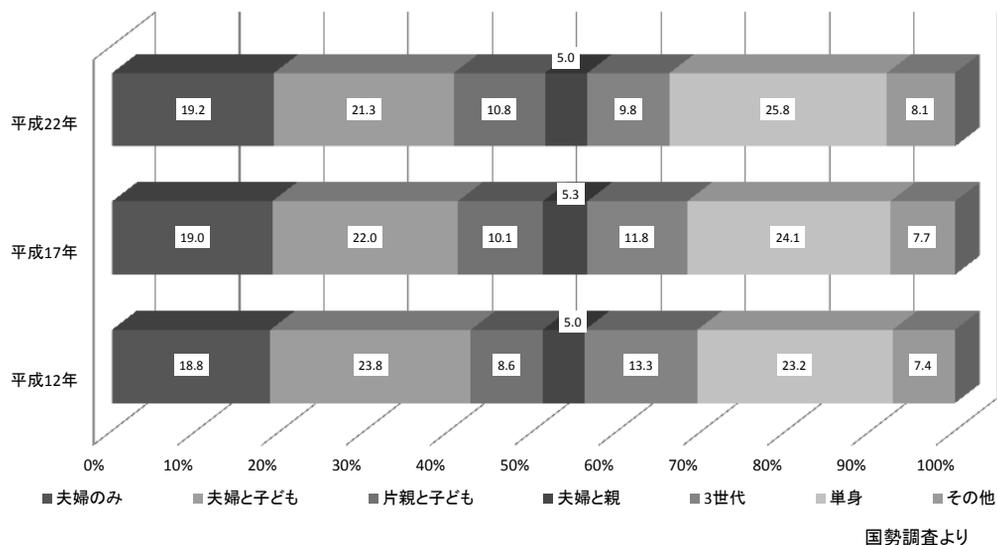
(12) 二戸市の離婚率は、全国より低く、やや減少傾向にあるが、県と比較すると離婚率が高い傾向にあります。



※資料: 岩手県保健福祉年報(各年10月1日推計人口: 県調査統計課)より

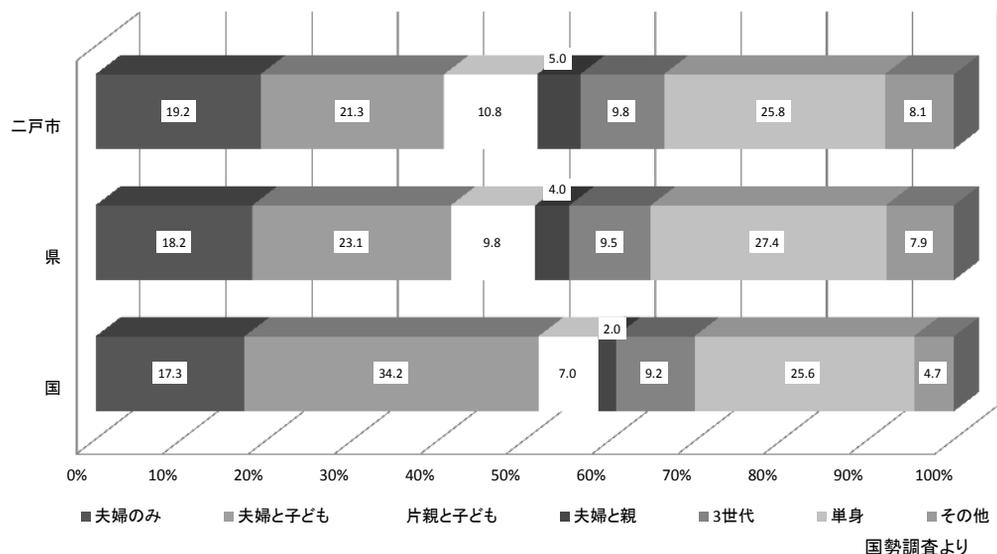
(13) 二戸市の家族類型世帯割合は、片親と子ども世帯、単身世帯が少しずつ増加し、夫婦と子ども世帯、3世代世帯が減少しています。

図13 二戸市家族類型世帯割合



(14) 平成22年度家族類型世帯割合をみると、国は夫婦と子ども世帯がと一番高い割合でありますが、県、二戸市では、単身世帯が一番高い割合となっています。

図14 平成22年度家族類型世帯割合



2 健やか親子21の指標

区分	評価指標	対象者	国					二戸市					
			現状	中間評価(5年後)目標	最終評価(10年後)目標	データソース	現状(%)						
							プラン策定時	中間評価(5年後)目標	最終評価(10年後)目標				
基盤課題A 切れ目ない妊産婦・乳幼児保健対策													
健康水準の指標	1	妊産婦死亡率	4.0 (出産10万対)	H24	減少	2.8	人口動態統計	0	H24	0		0	
	2	全出生数中の極低出生体重児の割合(%)	0.8%	H24	減少	減少	人口動態統計	0%	H24	0%		0%	
		全出生数中の低出生体重児の割合(%)	9.6%		減少	減少	人口動態統計	7.8%	H24	3.0%		0%	
	3	妊娠・出産について満足している者の割合	63.7%	H25年度	70.0%	85.0%	母子保健課調査	96.0%	H25年度	98.0%		100%	
4	むし歯のない3歳児の割合	81.0%	H24	85.0%	90.0%	地域保健・健康増進事業報告	72.3%	H25年度	76.0%		80.0%		
健康行動の指標	5	妊娠中の妊婦の喫煙率	3.8%	H25年度	0%	0%	母子保健課調査	5.3%	H25年度	0%		0%	
	6	育児期間中の両親の喫煙率	父	41.5%	H25年度	30.0%	20.0%	母子保健課調査	43.8%	H25年度	40.0%		35.0%
			母	8.1%	H25年度	6.0%	4.0%	母子保健課調査	9.6%	H25年度	5.0%		0%
	7	妊娠中の妊婦の飲酒率	4.3%	H25年度	0%	0%	母子保健課調査	2.0%	H25年度	0%		0%	
	8	乳幼児健康診査の受診率(重点課題②再掲)	3~5か月未受診率	4.6%	H23年度	3.0%	2.0%	地域保健・健康増進事業報告	3.1%	H25年度	1.5%		0%
			1歳6か月児未受診率	5.6%	H23年度	4.0%	3.0%	地域保健・健康増進事業報告	3.6%	H25年度	1.8%		0%
			3歳児未受診率	8.1%	H23年度	6.0%	5.0%	地域保健・健康増進事業報告	1.5%	H25年度	0.7%		0%
	9	小児救急電話相談(#8000)を知っている親の割合	61.2%	平成26年度	75.0%	90.0%	母子保健課調査	平成27年度に調査予定		ベースラインは調査後に設定		ベースラインは調査後に設定	
	10	子どものかかりつけ医(医師・歯科医師など)を持つ親の割合	医師 3~4か月児71.8% 3歳児85.6%	平成26年度	医師 3~4か月児80.0% 3歳児90.0%	平成26年度	医師 3~4か月児85.0% 3歳児95.0%	母子保健課調査	74.4%		80.0%		85.0%
			歯科医師 3歳児40.9%	平成26年度	歯科医師 3歳児45.0%	平成26年度	歯科医師 3歳児50.0%	母子保健課調査	平成27年度に調査予定		ベースラインは調査後に設定		ベースラインは調査後に設定
	11	仕上げ磨きをする親の割合	69.6%	平成26年度	75.0%	80.0%	母子保健課調査	87.2%	H25年度	93.0%		100%	
環境整備の指標	12	妊娠届時にアンケート調査を実施する等して、妊婦の身体的・精神的・社会的状況について把握している市町村の割合(重点課題②再掲)	92.8%	H25年度	100%	—	母子保健課調査	—					
	13	妊娠中の保健指導(母親学級や両親学級を含む)において、産後のメンタルヘルスについて、妊婦とその家族に伝える機会を設けている市町村の割合	43.0% (参考)50.2%	H25年度	75.0%	100%	母子保健課調査 (参考)平成25年度厚生労働科学研究(山崎)	—					
	14	産後1か月でEPDS9点以上を示した人へのフォロー体制がある市区町村の割合	11.50%	H25年度	50.00%	100%	母子保健課調査	—					
	15	・ハイリスク時に対し保健師等が退院後早期に訪問する体制がある市区町村の割合 ・市町村ハイリスク時の早期訪問体制構築等に対する支援をしている県型保健所の割合	市区町村24.9% 県型保健所81.9%	H25年度	市区町村50.0% 県型保健所90.0%	市区町村100% 県型保健所100%	母子保健課調査	—					
	16	・乳幼児健康診査事業を評価する体制がある市区町村の割合 ・市町村の乳幼児健康診査事業の評価体制構築への支援をしている県型保健所の割合	市区町村25.1% 県型保健所39.2%	H25年度	市区町村50.0% 県型保健所80.0%	市区町村100% 県型保健所100%	母子保健課調査	—					
	参考とする指標	①	周産期死亡率	出産千対4.0、 出生千対2.7	H24年	—	—	人口動態統計	4.9	H24	0		0
②		新生児死亡率 乳児(1歳未満)死亡率 (出生千対)	新生児死亡率1.0、 乳児死亡率2.2	H24年	—	—	人口動態統計	0	H24	0		0	
③		幼児(1~4歳)死亡率 (人口10万対)	20.9	H24年	—	—	人口動態統計	0	H24	0		0	
④		乳児のSIDS死亡率 (出生10万対)	13.9	H24年	—	—	人口動態統計	0	H24	0		0	
⑤		正期産児に占める低出生体重児の割合(新)	低出生体重児6.0% 極低出生体重児0.0093%	H24年	—	—	人口動態統計	平成27年度に調査予定		ベースラインは調査後に設定		ベースラインは調査後に設定	
⑥		妊娠11週以下での妊娠の届出率	90.8%	H24年	—	—	地域保健・健康増進事業報告	92.1%	H25年度	96.0%		100%	

区分	評価指標	対象者	国					二戸市				
			現状		中間評価(5年後)目標	最終評価(10年後)目標	データソース	現状(%)				
			現状	目標	目標	目標	プラン策定時	中間評価(5年後)目標	最終評価(10年後)目標	最終評価(10年後)目標		
参考とする指標	⑦ 出産後1か月児の母乳育児の割合		47.5%	H25年度	—	—	厚生労働科学研究	平成27年度に調査予定	ベースラインは調査後に設定	ベースラインは調査後に設定		
		(参考)51.6%	(H22年)	—	—	(参考)乳幼児身体発育調査						
	⑧ 産後1か月でEPDS9点以上の褥婦の割合		8.4%	H25年度	—	—	母子保健課調査	5.4%	H25年度	2.5%	0%	
	⑨ 1歳までのBCG接種を終了している者の割合		92.9%	H24年度	—	—	定期の予防接種実施者数	98.9%	H25年度	99.5%	100%	
	⑩ 1歳6か月までに四種混合の予防接種を終了している者の割合	(参考)三種混合94.7%	H25年度	—	—	幼児健康度調査	98.3%	H25年度	99.0%	100%		
		(参考)三種混合95.3% ポリオ95.6% 麻疹89.3% 風疹85.7%	H22年	—	—	母子保健課調査	91.3%		95.0%	100%		
			—	—	(参考)幼児健康度調査	平成27年度に調査予定	ベースラインは調査後に設定	ベースラインは調査後に設定				
⑪ 不妊に悩む方への特定治療支援事業の助成件数		134, 943件	H24年度	—	—	母子保健課調査	—					
⑫ 災害などの突発事象が発生したときに、妊産婦の受け入れ体制について検討している都道府県の割合		23.40%	H25年度	—	—	母子保健課調査	—					
基盤課題B 学童期・思春期から成人期に向けた保健対策												
健康水準の指標	1 十代の自殺死亡率		10~14歳1.3 (男1.8/女0.7) 15~19歳8.5 (男11.3/女5.6)	H24年	10~14歳減少 15歳~19歳減少	10~14歳減少 15歳~19歳減少	人口動態統計	0	H24	0	0	
	2 十代の人工妊娠中絶		7.1	H23年度	6.5	6	衛生行政報告例	6.1	H24	5.5	5.0	
	3 十代の性感染症罹患率	①性器クラミジア2.92	H24年	減少	減少	感染症発生動向調査	1人	H25	0	0		
		②淋菌感染症0.82	H24年	減少	減少		0	H25	0	0		
		③尖圭コンジローマ0.33	H24年	減少	減少		平成27年度に調査予定	ベースラインは調査後に設定	ベースラインは調査後に設定			
		④性器ヘルペス0.35	H24年	減少	減少		平成27年度に調査予定	ベースラインは調査後に設定	ベースラインは調査後に設定			
	4 児童・生徒における痩身傾向児の割合		2.0%	H25年度	1.5%	1.0%	学校保健統計調査	平成27年度に調査予定	ベースラインは調査後に設定	ベースラインは調査後に設定		
5 児童・生徒における肥満傾向児の割合		9.5%	H25年度	8.0%	7.0%	学校保健統計調査	14.3%	H25年度	11.0%	8.3%		
6 歯肉に炎症がある十代の割合		25.7%	H23年	22.9%	20.0%	歯科疾患実態調査	平成27年度に調査予定	ベースラインは調査後に設定	ベースラインは調査後に設定			
健康行動の指標	7 十代の喫煙率		中学1年生男子1.6%、女子0.9% 高校3年生男子8.6%、女子3.8%	H22年度	中学1年生男、女子0% 高校3年生男、女子0%	中学1年生男、女子0% 高校3年生男、女子0%	厚生労働科学研究	中学1年生0.4% 高校3年生1.3%	中学1年生0% 高校3年生0%	中学1年生0% 高校3年生0%		
	8 十代の飲酒率		中学3年生男子8.0%、女子9.1% 高校3年生男子21.0%、女子18.5%	H22年度	中学3年生男、女子0% 高校3年生男、女子0%	中学3年生男、女子0% 高校3年生男、女子0%	厚生労働科学研究	中学3年生0% 高校3年生1.3%	中学3年生0% 高校3年生0%	中学3年生0% 高校3年生0%		
	9 朝食を欠食する子どもの割合		小学5年生9.5% 中学2年生13.4%	H22年度	小学5年生5.0% 中学2年生7.0%	中間評価時に設定	児童生徒の食生活実態調査	小学5年生0.4% 中学2年生4.5%	小学5年生0.2% 中学2年生2.0%	小学5年生0% 中学2年生0%		
環境整備の指標	10 学校保健委員会を開催している小学校、中学校、高等学校の割合		(参考)85.1%	H24年	100%	100%	文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課調べ	—				
	11 地域と学校が連携した健康等に関する講習会の開催状況		53.6%	H25年度	80.0%	100%	母子保健課調査	—				
参考とする指標	① スクールカウンセラー配置する小学校、中学校の割合		小学校37.6% 中学校82.4% その他1,534カ所	H24年度	—	—	文部科学省初等中等教育局児童生徒課調べ	100%	100%	100%		
	② スクールソーシャルワーカーの配置状況		784人	H24年度	—	—	文部科学省初等中等教育局児童生徒課調べ	平成27年度に調査予定	ベースラインは調査後に設定	ベースラインは調査後に設定		
	③ 思春期保健対策に取り組んでいる地方公共団体の割合		都道府県100% 政令市・特別区83.9% 市町村42.6%	(H25年度)	—	—	母子保健課調査	—				
参考とする指標	④ 家族など誰かと食事する子どもの割合		小学5年生朝食84.0%・夕食97.7% 中学2年生朝食64.6%・夕食93.7%	H22年度	—	—	児童生徒の食事状況等調査	小学5年生100% 中学2年生95.0%	小学5年生100% 中学2年生98.0%	小学5年生100% 中学2年生100%		

区分	評価指標	対象者	国					二戸市				
			現状	中間評価(5年後)目標	最終評価(10年後)目標	データソース	現状(%)					
							プラン策定時	中間評価(5年後)目標	最終評価(10年後)目標			
基盤課題C 子どもの健やかな成長をもち育てる地域づくり												
健康水準の指標	1	この地域で子育てしたいと思う親の割合	91.1%	平成26年度	93.0%	95.0%	母子保健課調査	平成27年度に調査予定		ベースラインは調査後に設定		ベースラインは調査後に設定
	2	妊娠中、仕事を続けることに対して職場から配慮されたと思う就労妊婦の割合	91.0%	平成26年度	93.0%	95.0%	母子保健課調査	平成27年度に調査予定		ベースラインは調査後に設定		ベースラインは調査後に設定
健康行動の指標	3	マタニティーマークを妊娠中に使用したことの母親の割合	52.3%	H25年度	60.0%	70.0%	母子保健課調査	平成27年度に調査予定		ベースラインは調査後に設定		ベースラインは調査後に設定
	4	マタニティーマークを知っている国民の割合	45.6%	平成26年度	50.0%	55.0%	調査方法は今後検討	—				
	5	積極的に育児をしている父親の割合	47.2%	H25年度	50.0%	55.0%	母子保健課調査	(参考)育児をしている父親の割合 96.5%		98.0%		100%
環境整備の指標	6	・乳幼児健康診査の未受診者の全数の状況を把握する体制がある市区町村の割合 ・市町村の乳幼児健康診査の未受信の把握への取り組みに対する支援をしている県型保健所の割合	市区町村96.7% 県型保健所33.8%	H25年度	市区町村99.0% 県型保健所50.0%	市区町村100% 県型保健所100%	母子保健課調査	—				
	7	育児不安の親のグループ活動を支援している市区町村の割合	28.9%	H25年度	50.0%	100%	母子保健課調査	—				
	8	母子保健分野に携わる関係者の専門性の向上に取り組んでいる地方公共団体の割合	市区町村97.9% 県型保健所95.1%	H25年度	市区町村100% 県型保健所97.0%	市区町村100% 県型保健所100%	母子保健課調査	—				
参考とする指標	①	個人の希望する子ども数、個人の希望する子ども数と出生子ども数の差		H22年	—	—	国立社会保障・人口問題基本調査(出生動向基本調査)	—				
	②	不慮の事故による死亡率(人口10万対)		H24年	—	—	人口動態統計	0	H24年	0		0
	③	事故防止対策を実施している市区町村の割合	56.8%	H25年度	—	—	母子保健課調査	—				
	④	乳幼児がいる家庭で、風呂場のドアを乳幼児が自分で開けることができないよう工夫した家庭の割合	38.2%	H25年度	—	—	厚生労働科学研究	44.5%	H25年度	50.0%		55.0%
	⑤	父親の育児休業取得割合	1.89%	H24年度	—	—	雇用均等基本調査	—				
重点課題① 育てにくさを感じる親に寄り添う支援												
健康水準の指標	1	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	3~4か月児: 79.7% 1歳6か月児: 68.5% 3歳児: 60.3%	H25年度	3~4か月児: 81.0% 1歳6か月児: 70.0% 3歳児: 62.0%	3~4か月児: 83.0% 1歳6か月児: 71.5% 3歳児: 64.0%	母子保健課調査	3~4か月児: 91.6% 1歳6か月児: 83.1% 3歳児: 73.3%		3~4か月児: 93.0% 1歳6か月児: 85.0% 3歳児: 75.0%		3~4か月児: 95.0% 1歳6か月児: 87.0% 3歳児: 77.0%
	2	育てにくさを感じたときに対処できる親の割合	83.4%	平成26年度	90.0%	95.0%	母子保健課調査	平成27年度に調査予定		ベースラインは調査後に設定		ベースラインは調査後に設定
健康行動の指標	3	子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合	83.3%	平成26年度	90.0%	95.0%	母子保健課調査	—				
	4	発達障害を知っている国民の割合	67.2%	平成26年度	80.0%	90.0%	調査方法は今後検討	—				
環境整備の指標	5	・発達障害をはじめとする育てにくさを感じる親への早期支援体制がある市区町村の割合 ・市町村における発達障害をはじめとする育てにくさを感じる親への早期支援体制整備への支援をしている県型保健所の割合	市区町村85.9% 県型保健所66.5%	H25年度	市区町村90.0% 県型保健所80.0%	市区町村100% 県型保健所100%	母子保健課調査	—				

			国					二戸市				
区分	評価指標	対象者	現状		中間評価(5年後)目標	最終評価(10年後)目標	データソース	現状(%)			最終評価(10年後)目標	
								プラン策定時	中間評価(5年後)目標			
参考とする指標	① 小児人口に対する親子の心の問題に対処できる技術を持った小児科医の割合(小児人口11万対)		6.2 (参考)1,013人	H24年度	—	—	(一社)日本小児科医会調べ	—				
	② 小児人口に対する児童精神科医師の割合(小児人口10万対)		11.9	H25年	—	—	日本児童青年精神科医学会調べ	—				
	③ 情緒障害児短期治療施設の施設数		30都道府県 38施設	H24年	—	—	雇用均等・児童家庭局 家庭福祉課調べ	—				
	④ 就学前の障害児に対する通所支援の利用者数		37,505名	H25年	—	—	社会・援護局 傷害保険福祉部 障害福祉課調べ	—				
	⑤ 障害児支援を主要な課題とする協議体を設置している市区町村数		421	H25年	—	—	社会・援護局 傷害保険福祉部 障害福祉課調べ	—				
重点課題② 妊娠期からの児童虐待防止対策												
健康水準の指標	1 児童虐待による死亡数		心中以外:58人 心中:41人	H24年	それぞれが減少	それぞれが減少	「子どもの虐待による死亡事例等の検証結果等について」の報告書	—				
	2 子どもを虐待していると思う親の割合		(参考) 3~4か月児:0.8% 1歳6か月児:2.2% 3歳児:4.4%	平成26年度	—	—	母子保健課調査	4.2%	H25年度	2.0%		0%
健康行動の指標	3 乳幼児健康診査の受診率(基盤課題A再掲)	3~5か月未受診率	4.6%	H23年度	3.0%	2.0%	地域保健・健康増進事業報告	3.1%	H25年度	1.5%		0%
		1.6か月児未受診率	5.6%	H23年度	4.0%	3.0%	地域保健・健康増進事業報告	3.6%	H25年度	1.8%		0%
		3歳児未受診率	8.1%	H23年度	6.0%	5.0%	地域保健・健康増進事業報告	1.5%	H25年度	0.7%		0%
	4 児童虐待防止法で国民に求められた児童虐待の通告義務を知っていた国民の割合		61.70%	平成26年度	80.00%	90.00%	調査方法は今後検討	—				
	5 乳幼児ゆさぶられ症候群(SBS)を知っている親の割合		94.30%	平成26年度	100%	—	母子保健課調査	平成27年度に調査予定		ベースラインは調査後に設定		ベースラインは調査後に設定

区分	評価指標	対象者	国					二戸市				
			現状		中間評価(5年後)目標	最終評価(10年後)目標	データソース	現状(%)			最終評価(10年後)目標	
			現状	H25年度	目標	目標	調査	プラン策定時	中間評価(5年後)目標	現状(%)	最終評価(10年後)目標	
環境整備の指標	6	妊娠届け児にアンケート調査を実施する等して、妊婦の身体的・精神的・社会的状況について把握している市区町村の割合(基盤課題A再掲)	92.80%	H25年度	100%	—	母子保健課調査	—				
	7	対象家庭全てに対し、乳児家庭全戸訪問事業を実施している市区町村の割合	— (H26年度に調査予定)		ベースライン 調査後に設定	ベースライン 調査後に設定	子どもを守る地域ネットワーク等調査(政府統計)総務省調べ ※市区町村の児童家庭相談業務の実施状況等の調査は、5年に1回の調査予定(今回は平成30年度に実施予定) ※各年度ごとには、厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課虐待防止対策室調べで調査	—				
	8	養育支援が必要と認めた全ての家庭に対し、養育支援訪問事業を実施している市区町村の割合	— (H26年度に調査予定)		ベースライン 調査後に設定	ベースライン 調査後に設定	子どもを守る地域ネットワーク等調査(政府統計)総務省調べ ※市区町村の児童家庭相談業務の実施状況等の調査は、5年に1回の調査予定(今回は平成30年度に実施予定) ※各年度ごとには、厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課虐待防止対策室調べで調査	—				
	9	特定妊婦、要支援家庭、要保護家庭等支援の必要な親に対して、グループ活動等による支援(市町村への支援も含む)をしている県型保健所の割合	30.30%	H25年度	70.00%	100%	母子保健課調査	—				
	10	要保護児童対策地域協議会の実務者会議に、産婦人科医療機関の関係職種(産婦人科医又は看護師や助産師)が参画している市区町村の割合	— (H26年度に調査予定)		ベースライン 調査後に設定	ベースライン 調査後に設定	子どもを守る地域ネットワーク等調査(政府統計)総務省調べ ※市区町村の児童家庭相談業務の実施状況等の調査は、5年に1回の調査予定(今回は平成30年度に実施予定) ※各年度ごとには、厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課虐待防止対策室調べで調査	—				
	11	関係団体の協力を得て、児童虐待に関する広報・啓発活動を実施している地方公共団体の割合	54.90%	H25年度	80.00%	100%	母子保健課調査	—				
	12	児童虐待に対応する体制を整えている医療機関の数	(参考)572か所	H25年度	三次と二次救急医療機関の50%	全ての三次と二次救急医療機関数	母子保健課調査	—				
児童虐待の指標	①	児童相談所における児童虐待相談の対応件数	66,701件	H24年度	—	—	福祉行政報告例	—				
	②	市町村の児童虐待相談対応件数	73,200件	H24年度	—	—	福祉行政報告例	—				

3 への結・遊親子21プランの指標

このプランは、

健康となるめやすを数字として設定した
新たな母子保健計画です。

「健康水準の指標」

達成すべき親子の生活の質(QOL)を含む市民の健康がどのくらいか知るものです。

「住民自らの行動の指標」

親子や各家庭での保健行動や生活習慣に関する各課題の達成を目指して、住民一人一人が取り組むべきものです。

「行政・関係機関等の 取組の指標」

市の保健福祉サービスの状態や学校保健分野が取り組むべきものです。

1 安心して妊娠・出産できる

区分	評価の指標	現状値 (H25)	中間評価 (H31)	最終目標値 (H36)	評価方法等
健康水準の指標					
1	妊産婦死亡率(出生10万人対)	0% H24	0%	0%	人口動態統計
2	妊娠・出産について満足しているものの割合	96.0%	98.0%	100%	母子相談 4・10ヶ月健診問診票の活用
3	産後1か月でEPDS9点以上の褥婦の割合	5.4%	2.5%	0%	家庭訪問でのアンケート調査
4	妊娠中、仕事を続けることに対して職場から配慮されたと思う就労妊婦の割合	平成27年度に調査予定	ベースライン調査後に設定	ベースライン調査後に設定	4ヶ月健診問診票の活用
市民自らの行動指標					
1	妊娠3か月(11週)まで妊娠届けしたものの割合	92.1%	96.0%	100%	母子健康手帳交付時
2	妊婦健康診査の受診率	79.2%	90.0%	100%	妊婦一般健康診査受診状況 医療機関
3	妊娠から産後まで継続して相談できる人がいたものの割合	98.9%	99.5%	100%	母子相談 4・10ヶ月健診問診票の活用
4	妊娠中から産後に自分に必要な情報を十分に得られたものの割合	90.8%	95.0%	100%	母子相談 4・10ヶ月健診問診票の活用
5	妊娠中の妊婦の喫煙率	5.3%	0%	0%	母子手帳交付時相談 インタビュー
6	妊娠中の妊婦の飲酒率	2.0%	0%	0%	母子手帳交付時相談 インタビュー
7	不妊について相談できた割合	60.1%	70.0%	80.0%	母子手帳交付時相談 インタビュー
8	マタニティーマークを妊娠中に使用したことのある母親の割合	平成27年度に調査予定	ベースライン調査後に設定	ベースライン調査後に設定	4ヶ月健診問診票の活用
9	出産後1か月時の母乳育児の割合	平成27年度に調査予定	ベースライン調査後に設定	ベースライン調査後に設定	4ヶ月健診問診票の活用
10	母性管理指導事項連絡カードを知っているものの割合	51.3%	60.0%	70.0%	母子手帳交付時相談 インタビュー
行政・関係機関等の取り組み指標					
1	妊婦同士で情報交換できる仲間がいると答えるものの割合	67.5%	75.0%	85.0%	母子相談 4・10ヶ月健診問診票の活用
2	妊娠、出産、育児について話し合いをしている家庭の割合	78.3%	90.0%	100%	母子相談 4・10ヶ月健診問診票の活用
3	相談窓口を知っているものの割合	60.1%	70.0%	80.0%	母子相談 4・10ヶ月健診問診票の活用

2 父親と母親が安心して子どもを育てることができる					
区分	評価の指標	現状値 (H25)	中間評 価(H31)	最終目標 値(H36)	評価方法等
健康水準の指標					
1	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合				
	3～4か月児	91.6%	93.0%	95.0%	乳幼児健診問診票の活用
	1歳6か月児	83.1%	85.0%	87.0%	乳幼児健診問診票の活用
	3歳児	73.3%	75.0%	77.0%	乳幼児健診問診票の活用
2	育てにくさを感じたときに対処できる親の割合	平成27年度に調査予定	ベースライン調査後に設定	ベースライン調査後に設定	乳幼児健診問診票の活用
3	子育てが楽しいと感じる母親の割合	88.5%	90.0%	100%	乳幼児健診問診票の活用
4	子育てに自身がもてない母親の割合	18.5%	10.0%	0%	乳幼児健診問診票の活用
5	自分の子どもを虐待していると思う母親の割合	4.2%	2.0%	0%	乳幼児健診問診票の活用
市民自らの行動指標					
1	育児について相談相手がいる母親の割合	99.2%	99.6%	100%	乳幼児健診問診票の活用
2	積極的に育児に参加する父親の割合	(参考) 96.5%	98.0%	100%	乳幼児健診問診票の活用
3	子どもと一緒に遊ぶ父親の割合	98.0%	99.0%	100%	乳幼児健診問診票の活用
4	育児について必要な情報を得ることができたと思う母親の割合	98.2%	99.0%	100%	乳幼児健診問診票の活用
5	子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合	平成27年度に調査予定	ベースライン調査後に設定	ベースライン調査後に設定	乳幼児健診問診票の活用
6	この地域で子育てしたいと思う親の割合	平成27年度に調査予定	ベースライン調査後に設定	ベースライン調査後に設定	乳幼児健診問診票の活用
行政・関係機関等の取り組み指標					
1	二戸市の子育て支援について知っているものの割合				
	子育て支援センター	58.7%	63.0%	68.0%	乳幼児健診問診票の活用
	子育てサークル	24.5%	30.0%	35.0%	乳幼児健診問診票の活用
	総合福祉センター	49.9%	55.0%	60.0%	乳幼児健診問診票の活用
2	乳幼児健康診査に満足しているものの割合	98.8%	99.4%	100%	乳幼児健診問診票の活用

3 父親と母親が子どもの健康な心とからだの基礎をつくることできる

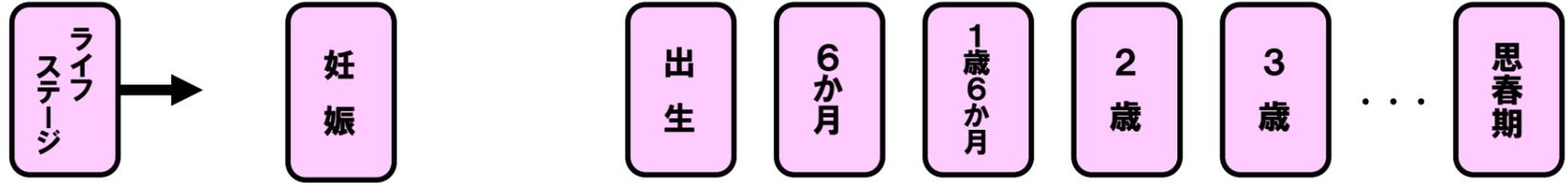
区分	評価の指標	現状値 (H25)	中間評価 (H31)	最終目標 値(H36)	評価方法等
健康水準の指標					
1	周産期死亡率(出産千対)	4.9	0	0	人口動態統計
2	全出生数中の極低出生体重児(1.5kg未満)の割合	0%	0%	0%	人口動態統計
3	全出生数中の低出生体重児(2.5kg未満)の割合	7.8%	3.0%	0%	人口動態統計
4	正期産児に占める低出生体重児の割合	平成27年度 に調査予定	ベースライン 調査後に設 定	ベースライン 調査後に設 定	人口動態統計
5	新生児(生後1週間未満)死亡数	0人	0人	0人	人口動態統計
6	乳児(1歳未満)死亡数	0人	0人	0人	人口動態統計
7	乳児のSIDS死亡数	0人	0人	0人	人口動態統計
8	幼児(1~4歳)死亡率(人口10万対)	0%	0%	0%	人口動態統計
9	不慮の事故死亡率(人口10万対)				
	0歳	0	0	0	人口動態統計
	1~4歳	0	0	0	人口動態統計
	5~9歳	0	0	0	人口動態統計
	10~14歳	0	0	0	人口動態統計
	15~19歳	0	0	0	人口動態統計
10	子どもの食事のことで不安を感じている母親の割合	28.3%	23.0%	18.0%	乳幼児健診問診票の活用
11	よくかんで食べている子どもの数の割合	79.4%	85.0%	90.0%	1歳6ヶ月、3歳健診問診票の活用
12	むし歯のない3歳児の割合	72.3%	76.0%	80.0%	3歳健診問診票の活用
13	児童・生徒における肥満傾向児の割合				
	小学4年生	14.3%	11.0%	8.3%	学校保健統計調査
	中学1年生	19.8%	16.1%	12.4%	学校保健統計調査

3 父親と母親が子どもの健康な心とからだの基礎をつくらることができる					
区分	評価の指標	現状値 (H25)	中間評価 (H31)	最終目標 値(H36)	評価方法等
市民自らの行動指標					
1	1歳までにBCGの予防接種を終了しているものの割合	98.9%	99.5%	100%	予防接種予診票の活用
2	1歳6か月までに四種混合の予防接種を終了しているものの割合	98.3%	99.0%	100%	予防接種予診票の活用
3	1歳6か月までに麻しんの予防接種を終了しているものの割合	91.3%	95.0%	100%	予防接種予診票の活用
4	1歳6か月までに風しんの予防接種を終了しているものの割合	平成27年度 に調査予定	ベースライン 調査後に設 定	ベースライン 調査後に設 定	予防接種予診票の活用
5	フツ素塗布を受けている子どもの割合	95.5%	98.0%	100%	3歳健診
6	仕上げみがきをする父親および母親の割合	87.2%	93.0%	100%	3歳健診問診票の活用
7	子どものおやつの時間を決めている父親および母親の割合	78.8%	83.0%	88.0%	3歳健診問診票の活用
8	間食の回数を1日2回以内に行っている父親および母親の割合	94.5%	97.0%	100%	3歳健診問診票の活用
9	子どもに主食、主菜、副菜を毎食そろえている親の割合	72.1%	80.0%	85.0%	1歳6ヶ月、3歳健診問診票の活用
10	育児期間中の父親および母親の自宅での喫煙率	父43.8% 母9.6%	40.0% 5.0%	35.0% 0%	4.10ヶ月健診問診票の活用
11	かかりつけの小児科医を持つ親の割合	74.4%	80.0%	85.0%	乳幼児健診問診票の活用
12	かかりつけの歯科医を持つ親の割合	平成27年度 に調査予定	ベースライン 調査後に設 定	ベースライン 調査後に設 定	乳幼児健診問診票の活用
13	心肺蘇生法を知っている親の割合	33.6%	38.0%	43.0%	乳幼児健診問診票の活用
14	休日・夜間の小児救急医療機関を知っている親の割合	94.1%	97.0%	100%	乳幼児健診問診票の活用
15	小児救急電話相談(#8000)を知っている親の割合	平成27年度 に調査予定	ベースライン 調査後に設 定	ベースライン 調査後に設 定	乳幼児健診問診票の活用
16	事故防止対策をしている家庭の割合	85.8%	93.0%	100%	乳幼児健診問診票の活用
17	乳幼児のいる家庭で風呂場のドアを乳幼児が自分であけることができないように工夫した家庭の割合	44.5%	50.0%	55.0%	1歳6ヶ月、3歳健診問診票の活用
18	乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)を知っている親の割合	平成27年度 に調査予定	ベースライン 調査後に設 定	ベースライン 調査後に設 定	乳幼児健診問診票の活用
19	異物を飲み込んだことのあるものの割合	4.5%	2.0%	0%	3歳健診問診票の活用
20	乳児期にうつぶせ寝をさせている親の割合	1.3%	0.8%	0%	4.10ヶ月健診問診票の活用
21	夜9時半までに就寝する3歳児の割合	65.5%	70.0%	75.0%	3歳健診問診票の活用
22	健康診査未受診率				
	1～2ヶ月	0%	0%	0%	健康診査未受診率
	4ヶ月	3.1%	1.5%	0%	健康診査未受診率
	6～7ヶ月	5.2%	2.5%	0%	健康診査未受診率
	10ヶ月	3.3%	1.5%	0%	健康診査未受診率
	11～12ヶ月	9.5%	5.0%	0%	健康診査未受診率
	1歳6ヶ月	3.6%	1.8%	0%	健康診査未受診率
	2歳歯科	5.1%	2.5%	0%	健康診査未受診率
	3歳	1.5%	0.7%	0%	健康診査未受診率
行政・関係機関等の取り組み指標					
1	自然とのふれあい(花や野菜)を実施している保育所・児童館・幼稚園の割合	100%	100%	100%	保育所・児童館・幼稚園状況調査

4 子どもが思春期に自分や相手の将来について考えられるようになる

区分	評価の指標	現状値 (H25)	中間評価 (H31)	最終目標 値(H36)	評価方法等
健康水準の指標					
1	10代の自殺死亡率(人口10万対)	0% H24	0%	0%	人口動態統計
2	10代の人工妊娠中絶実施率(人口千対)	6.1% H24	5.5%	5.0%	人口動態統計
3	10代の性感染症罹患率(15～19歳)				
	性器クラミジア感染症				
	男子	0人	0人	0人	感染症発生動向調査
	女子	1人	0人	0人	感染症発生動向調査
	淋菌感染症				
	男子	0人	0人	0人	感染症発生動向調査
	女子	0人	0人	0人	感染症発生動向調査
	尖圭コンジローマ				
	男子	平成27年度 に調査予定	ベースライ ン調査後に 設定	ベースライ ン調査後に 設定	感染症発生動向調査
	女子				感染症発生動向調査
	性器ヘルペス				
	男子	平成27年度 に調査予定	ベースライ ン調査後に 設定	ベースライ ン調査後に 設定	感染症発生動向調査
	女子				感染症発生動向調査
4	児童・生徒における痩身傾向児の割合	平成27年度 に調査予定	ベースライ ン調査後に 設定	ベースライ ン調査後に 設定	学校保健統計調査
5	児童・生徒における肥満傾向児の割合				
	小学4年生	14.3%	11.0%	8.3%	学校保健統計調査
	中学1年生	19.8%	16.1%	12.4%	学校保健統計調査
6	歯肉に炎症のある10代の割合	平成27年度 に調査予定	ベースライ ン調査後に 設定	ベースライ ン調査後に 設定	学校保健統計調査
市民自らの行動					
1	10代の喫煙率				
	中学1年生	0.4%	0%	0%	調査方法は今後検討
	高校3年生	1.3%	0%	0%	調査方法は今後検討
2	10代の飲酒率				
	中学校3年生	0%	0%	0%	調査方法は今後検討
	高校3年生	1.3%	0%	0%	調査方法は今後検討
3	朝食を欠食する子どもの割合				
	小学5年生	0.4%	0.2%	0%	調査方法は今後検討
	中学2年生	4.5%	2.0%	0%	調査方法は今後検討
4	家族など誰かと食事する子どもの割合				
	小学5年生	100%	100%	100%	調査方法は今後検討
	中学2年生	95.0%	98.0%	100%	調査方法は今後検討
行政・関係機関等の取組指標					
1	スクールカウンセラーを配置している小学校、中学校	100%	100%	100%	学校状況調査
2	スクールソーシャルワーカーの配置状況	平成27年 度に調査 予定	ベースライ ン調査後 に設定	ベースライ ン調査後 に設定	学校状況調査
3	ボランティア体験をしたことがある高校生の割合				調査方法は今後検討

4 母子保健の体系(平成26年度現在)



相談

- ☆妊娠届
- ☆母子健康手帳交付
- ☆妊婦一般健康診査受診票発行
- ☆母子相談(妊産婦相談、乳児相談)・・・所内・電話
- ☆訪問指導(妊産婦・新生児・乳幼児)

- ☆出生届
- ☆乳児一般健康診査受診票発行

健康教育

- ☆両親学級『パパママ教室』

- ☆育児教室『結いっこベビールーム』、(離乳食教室、遊びの教室、ベビーマッサージ教室)

- ☆親子ブラッシング教室

- ☆ふれあい体験学習(中学生)

- ☆なかよし教室

健康診査

- ☆妊婦医療機関委託健康診査

- ☆乳児医療機関委託健康診査
- ☆幼児歯科委託健康診査
- ☆胆道閉鎖症マス・スクリーニング
- ☆集団健康診査

(4か月, 10か月, 1歳6か月, 2歳6か月, 3歳6か月)

- ☆フッ素塗布(1歳6か月・2歳6か月・3歳6か月)

予防接種

- ☆予防接種・・・集団接種・BCG(5か月～1歳未満)・日本脳炎(3歳・4歳・9歳)
- 個別接種・三種混合(～7歳6か月未満)・DT(小学6年生)
- ・四種混合(3か月～7歳6か月未満)
- ・不活化ポリオ(H24.5月生～7歳6か月未満)
- ・MR(12か月～24か月未満・小学校就学前の1年間)
- ・日本脳炎(14歳・17歳)
- ・ヒブワクチン(2か月～5歳未満)

情報提供

- ☆出生児・健診時にパンフレット配布

- ☆子育て伝言板
- ☆広報・保健だより

子育て支援

- ☆子育て教室(子どもの病気についての講話・救急法の実技)
- ☆子育てサークル支援
- ☆母と子の料理教室

障害又はその疑いのある児の支援

- ☆子ども発達支援センター
- ☆心身障害児早期療育支援事業『発達支援センター「風」』

子育て支援センター

- ☆おやこひろば
- ☆おはなしルーム
- ☆おもちゃ図書館

福祉事務所

- ☆保育所・託児所(0～6歳) → ☆児童クラブ

- ☆幼稚園・児童館(3～5歳)